



このコーナーでは、職員の趣味や特技を紹介します。今号は西岡病院長補佐（国際交流担当）に寄稿いただきました。

～卓球との出会い～

徳島県西部の三野中学校に入学すると同時に、卓球部に入部し練習を始めました。その後、徳島大学を卒業するまで12年間続けました。キャリアは長いのですが、本当に卓球を好きになったきっかけは、大学2年生の時のN氏との出会いです。その出会いを4年前の蔵本際の寄稿文に「学生時代に出会った‘熱い人’」と題して書かせていただきました。

『……………一つの事にとことん集中すること、中途半端でなくやり抜くこと、何事も一つの山に登り、そしてその場に立たなければ本当の魅力は見えないこと、その他にもたくさんの事を教えてもらった。小さな山でも大きな山でも頂点に立つのは難しいものである。できればもう少し早く山頂を目指して挑戦すべきだったかもしれない。N氏と卓球部（員）には心から感謝している。卒後24年。その後も、何人かの“熱い人”との出会いがあった。今は“呼吸器・膠原病内科学”、“第三内科”、そして相変わらず“卓球”の3つには“熱い人”でありたいと思っている。』

今回は、その後に会った熱い人の一人を紹介します。金沢大学がん進展制御研究所腫瘍内科の矢野聖二教授（平成2年徳島大学医学部卒）です。矢野先生とは、学生時代に4年間ダブルスを組み（当時はほぼ無敵のダブルスでした）（写真1, 2）、入局も同じ第三内科で、18年間一緒に仕事に励みました。卒業後卓球からは遠ざかっていたのですが、ちょうど5年前に矢野先生から声をかけて頂き卓球を再開しました。先日（10月25日）、岡山市で開催された第26回中国四国医師オープン卓球大会（<http://web1.nazca.co.jp/tyuusikoku/index.html>）に参加し、シニアの部（50歳台）で初優勝することができました（写真3）。決勝は矢野先生との試合になり、フルセットの熱戦で逆転優勝（3対2）でした（矢野先生は過去3回優勝）。矢野先生には少しお礼ができたのではと思っています。徳島大学でチームを作って参加することが次の目標です。実は卓球に興味があるという方はぜひ声をかけてください。

仕事でも出会いを大切にしていきたいと思っています。卓球には感謝！

病院長補佐（国際交流担当） 西岡 安彦



（写真1）西医体での矢野先生とのダブルス（昭和62年7月31日）



（写真2）医学科6年（最後）の西医体男子団体3位（昭和62年8月1日：熊本）



（写真3）第26回中国四国医師オープン卓球大会（出場した団体チームメンバーと）

このコーナーでは、病院でとりくんでいる様々な事業を紹介します。

外来診療棟の開院について

平成27年9月24日（木）、新外来診療棟が開院しました。新外来診療棟では、患者負担の軽減、患者支援の充実、アメニティの充実を目指しています。患者負担の軽減では、待ち時間の短縮を目指し、ブロック受付の導入、患者呼び込みシステムの導入等を取り入れています。1階には脳神経外科、2階には耳鼻咽喉科・頭頸部外科と眼科、泌尿器科と産婦人科、小児科、整形外科と麻酔科の各ブロック受付が、3階には外科、内科、皮膚科と形成外科・美容外科の各ブロック受付が、4階には歯科、歯科口腔外科、矯正歯科・小児歯科の各ブロック受付があります。将来的にはブロック受付での会計処理完了を目標としています。

一方、中央診療棟などの案内表示に不十分な点が指摘されており、さらに分かりやすい案内表示とする予定です。まだ改善点がありますが、今後も待ち時間の短縮等患者さんの利便性向上・負担軽減に向けて取り組む予定です。

患者支援の充実については、1階西側に患者支援センターを設置し、入退院サポート、地域連携、セカンドオピニオン、種々の相談など、全ての患者支援業務に対応しています。患者支援センターの中にはがん相談支援センターも設置されており、がん患者さんご家族の悩みや相談に対してソーシャルワーカーや看護師がサポートをし、がん患者さんの就労問題にも対応しています。

また、アメニティの充実では、1階にローソン、天吉うどん、タリーズコーヒー、郵便局などに広いスペースを確保し、広々とした明るいアメニティテラスには自動販売機やテーブル・イス、大画面のモニターなどが設置され、患者さんやご家族、職員がゆったりとくつろげるスペースが確保されています。なお、5階には、事務部門・看護部門の他、日亜ホールが設置されました。4階の手術室は平成28年には稼働の予定です。

現在、西外来診療棟の改修が進められているため、旧外来診療棟、臨床研究棟とのアクセスが非常に悪くなっており、職員の皆様には大変ご迷惑をおかけしています。今年度中には改修工事も完了し、5月の連休に移転し、連休明けには西外来診療棟も稼働する予定となっています。

病院長補佐（新外来診療棟担当） 金山 博臣



（上段）患者支援センター
（下段）アメニティテラス
（左段）ブロック受付

NEWS・イベント大募集！

「Harmony」は、病院職員を対象に、院内情報の伝達や職員のコミュニケーションの活性化などを目的として発行しております。行事やイベントなどのNEWSや院内で周知してほしいTOPICSなどがありましたら、どんどん病院総務課広報・企画係（bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp）までお寄せください。また、「Harmony」で取り上げたら良いと思うテーマなど、ご意見・ご提案もお待ちしております。



中学生看護体験の開催

平成27年7月1日～3日に鳴門教育大学附属中学校から8名、11月11日～12日に鳴島東中学校から7名の看護師や助産師や医師を目指している中学2年生が職場体験に参加しました。午前中は、病棟にて看護体験を行い。午後からは、薬剤部・栄養部・放射線部・手術部・集学治療病棟・外来化学療法室等のご協力で見学を行いました。また、スキルスラボでシミュレーターなどを使って心臓の音や肺の音を聞いたり、血圧を測ったり、手洗い等の体験をしました。参加者全員「期待した以上」だったとの評価でした。「看護師の仕事が忙しく大変であると同時に小さな幸せをたくさん感じられること」「この体験を活かし自分の夢を実現するために頑張りたい」などの感想がありました。



第37回日本歯科技工学会学術大会 優秀発表賞祝賀会

診療支援部歯科医療技術部門歯科技工士の鴨居浩平君が第37回日本歯科技工学会学術大会において演題名「マイクロレーザー技術を応用した補綴装置内部への情報書き込み法の開発」を発表し、最優秀発表賞（金賞）に輝きました。この技術は災害時や高齢者社会における個人の認証に役立つものと期待されています。

そこで、受賞祝賀会を徳島駅前の居酒屋「ろく」で行いました。徳島大学技工室では第31回大会と第33回大会の優秀発表賞（銀賞）以来の受賞ですが、今回の金賞は初めての受賞になります。技工室は小さな部門ですが、これからもスタッフみんなで診療、研究と頑張っていきます。



技工室

形成外科・美容外科

徳島大学形成外科手術手技ワークショップを開催しました



10月3日（土）に1階スキルスラボにて初期研修医を対象とした徳島大学形成外科手術手技ワークショップを開催し、四国内から9名の研修医の参加がありました。

今回は顕微鏡下にチューブを使用した擬似血管吻合と豚皮を使用した真皮・皮膚縫合を行いました。形成外科医がほぼマンツーマンで指導し、講義も合わせて3時間という限られた時間でしたが、全員から次回も参加したい評価を得られました。今後も定期的開催したいと思います。

病院クリスマスコンサートを開催しました

平成27年12月11日（金）、日垂メディカルホールにてクリスマスコンサートを開催し、約60人が参加しました。

最初に佐古小学校合唱部の皆さんが合唱コンクールで銀賞に輝いた課題曲や「きよしこの夜」などのクリスマスソングメドレーを披露し、参加者を魅了しました。

続いて徳島大学室内楽同好会の皆さんが「ホール・ニュー・ワールド」「ムーン・リバー」などの名曲とクリスマスソングを演奏し、会場がピアノと管楽器が奏でるロマンティックなメロディに包み込まれました。

今年も参加者はクリスマス音楽を堪能され、充分楽しんでいただけたようでした。



TOPIC

徳島大学病院フォーラム2016 春

「アンチエイジング～健康寿命をのばすために～」と「がん」

日時：平成28年2月7日（日）14:00～16:50

場所：あわぎんホール 4階大会議室

対象：一般向け

連絡先：病院総務課 広報・企画係 （内線5119）